



高機能化と優雅さ、2つがせめぎ合った末のシンプルデザイン [BeoSound 2]

メーカー バング&オルフセン ジャパン(株)

URL www.bang-olufsen.com

洗練されたデザインで知られるバング&オルフセン(B&O)からMP3プレーヤー“BeoSound 2”が発売される。直径7センチのUFO型ボディはステンレススチール製。普通のMP3プレーヤーには必ずあるはずの曲目表示用のディスプレイは搭載されていない。そう、それでいいのだ。細々とした情報や操作に煩わられるのはB&Oユーザーの望むところではないだろう。とはいえ、MP3はCDと違って楽曲鑑賞までのプロセスが結構面倒だ。楽曲ダウンロードやプレイリストの編集、データの転送といったわずらわしい手間暇。そして手をかざすだけで扉が開くCDプレーヤーに代表される、B&Oのシンプルな未来感。両者がどういった具合に調和するのか、とても気になるところだ。そのすり合わせを担うパソコン用ソフト“BeoPlayer”は秀逸な出来映えだが、プロダクトの高機能化と優雅さのせめぎ合いは今後も続きそうだ。
(クワクポリョウタ / デバイスアーチスト)



技術を生かすなら、火星よりまず地上 アメリカ市民によるアフガン検証プロジェクト [Afghan Explorer]

開発元 MIT Media Lab.

URL compcult.media.mit.edu/afghan_x/

火星探査用車両を思わせるこのマシン、太陽蓄電池で四輪を駆動し、世界中のどこからでもコントロール可能という究極の移動インタビューロボットである。これを使って戦時体制下のアフガン各地で遠隔取材を行おうというのだから、一見、おバカな思いつきに思える。だが、よくよく聞くともっともな理由がある。湾岸戦争以降、アメリカ政府は作戦上の理由から戦闘地域へのジャーナリストの立ち入りを禁止してしまった。このため市民は政府発表でしか状況をつかむことができない。このプロジェクトは政府に対する納税者のカウンタープロジェクトというわけである。インタビューを友好的なものにするために、液晶ディスプレイをわざわざ設けてインタビューアの顔を見せようとしたり、ピースマークの旗を掲げたりするなど、いかにも学生らしいチューニングが効いているところもおもしろい。

(今泉 洋 / 武蔵野美術大学デザイン情報学科教授)



手に汗握るワイヤレス、熱いプレゼンテーションもこれでOK! [Wireless Hand Track 使えてマウスRF]

メーカー (株)創朋

URL www.soho-jp.com

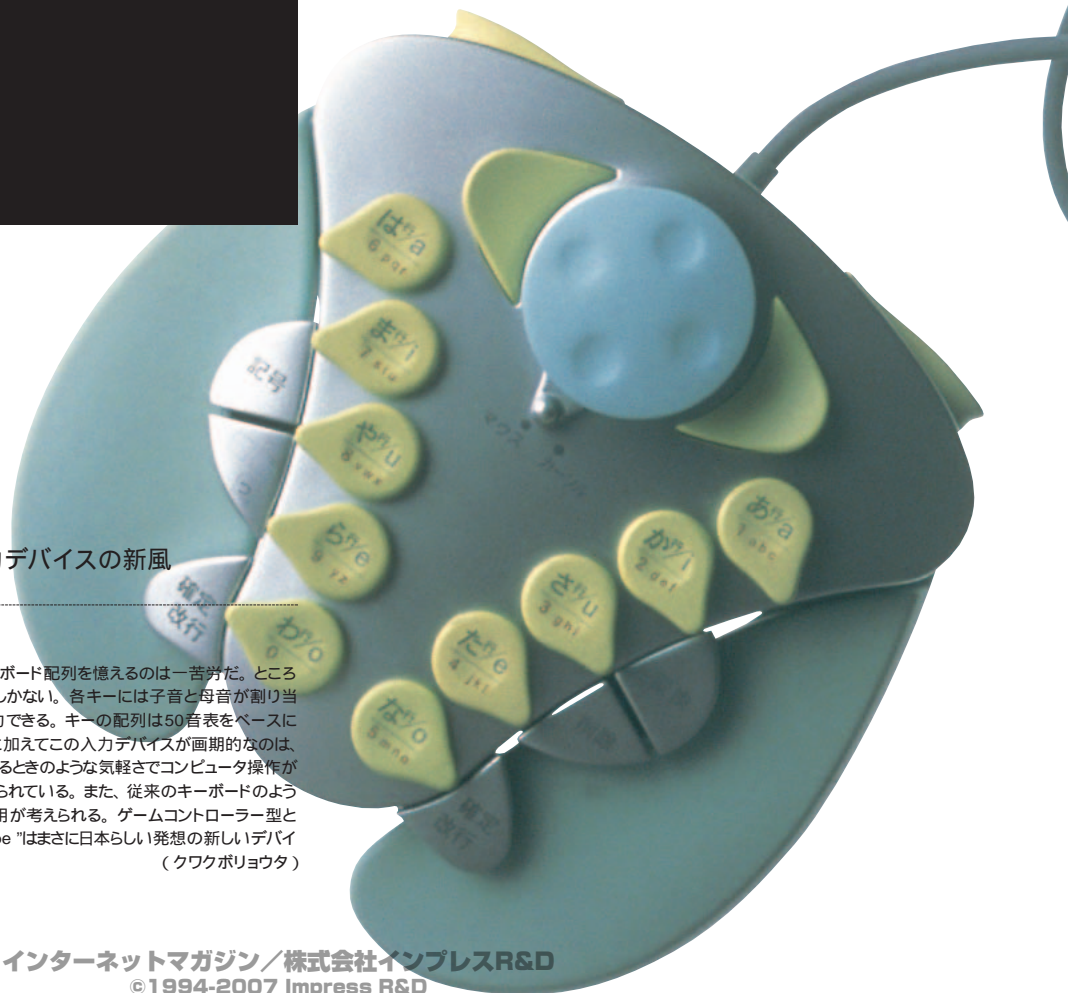
パソコンとプロジェクターとを使ったプレゼンテーションなどの場面では、話し手が手元に置いたパソコンの操作に終始するために、聞き手のリアクションを観察できない状況になりがちだ。これではアイコンタクトもないので自然と説得力に欠けてしまう。思うに“使えてマウスRF”はそんなときに最適なデバイスではないだろうか。これはワイヤレス方式のトラックボールで、グリップを握り、親指でボール、人差し指でトリガーを操作する形になっている。これを使えば、プロジェクション画面を見ながら操作もできるし、聞き手の前を歩き回っての熱弁パフォーマンスもできようというもの。ただし電波の届く距離は3メートルとのことなので、その点は要注意だ。

(クワクポリョウタ)



PRO'S Products

MAY



気軽に覚えてすぐ使える、日本語入力デバイスの新風
[tagtype プロタイプ]

メーカー (有)リーディング・エッジ・デザイン
URL www.LLEEDD.com

タイピングを習得しようとする人にとって、たくさんのキーボード配列を憶えるのは一苦労だ。ところがこの“tagtype”にはメインとなるキーはたったの10個しかない。各キーには子音と母音が割り当てられており、それを順に押すことで日本語の文字を入力できる。キーの配列は50音表をベースにした、小学生でもすぐわかる規則を採用している。それに加えてこの入力デバイスが画期的なのは、両手で持って操作できることだ。まるでテレビゲームをやるときのような気軽さでコンピュータ操作が可能になるうえに、指の動きが最小限で済むように考えられている。また、従来のキーボードのように机を必要としないから、生活のさまざまな場面での利用が考えられる。ゲームコントローラー型といい、子音プラス母音という入力メソッドといい、“tagtype”はまさに日本らしい発想の新しいデバイスだと言えるだろう。
(クワクポリョウタ)



プラスとマイナス、飛び出すイオンの相乗効果 [FU-M40CX] [FU-M21CX] [他3点]

メーカー シャープ(株)

URL www.sharp.co.jp/clusterion/

筆者はいわゆる健康グッズには疎いのだが、それでも森林を歩いたときの爽快さは景色だけによるのではない、ということくらいはなんとなく信じられる。その気持ち良さのおもな理由とされているのが「いまやおなじみの『マイナスイオン』」。この空気清浄機は室内で欠乏しがちなマイナスイオンを放出してイオンバランスをコントロールするだけでなく、プラスイオンとマイナスイオンの働きでにおいの元やカビ菌を取り囲み、効果を表す機能も持っているという。ランニングコストは1日あたり約1円! とここで、パソコンなどから発せられる電磁波はプラスイオンを増やす原因になるといふ話を聞いたことがある。次はぜひパソコン用の空気清浄増設ボードを出してはどうだろうか?

(クワクポリョウタ)



新世紀のためにまずは頭脳をターンオン ウィーン生まれの新しい生活空間提案 [turnOn]

開発元 awg_AllesWirdGut

URL www.alleswirdgut.cc/turnon/

一見、ハツカネズミの輪のように見えるこの製品は、オーストリアのデザイン企業「Alles Wird Gut」(ドイツ語で「すべてはうまくいく」という意)の手になる未来の居住装置提案。旧来の床、天井、壁といった居住空間概念にとらわれず、全体を回転させることで食事や睡眠などに必要なスペースをその都度確保し、最小限のスペースで最大限のユーティリティを発揮するようデザインされている。水回りのことを考えると多少無理があるような気もするが、彼らの狙いは自動車と住宅という2つの産業の新結合、つまりプレハブとマスプロダクションによって新しい生活空間を産業的に実現しようというもの。おそらく日本で「自動車と住宅の新結合」と言われても、キャンピングカーくらいしか考えつかないのではないだろうか。こうしたダイナミックな提案が出てこないところに不況から抜け出すことのできない理由がありそうな気がするのだが、.....。(今泉 洋)

PRO'S Products

MAY



近未来SFのお約束プロダクト
腕時計型万能リモコンに隠された野望
[Midas remote control watch]

メーカー Universal Electronics Inc.
URL uei.com

“Midas”は家庭のテレビやSTBなどを遠隔操作できる腕時計型のリモートコントロール。まさに子どものころ夢見た世界だが、話はただカッコいいだけでは終わらない。製造元のUEI社は、世界中で販売されている9万5千種のデバイスのコントロールコードをDB化している。すでに家庭にはAV機器があふれているが、ここに新たに入り込もうとするSTBなどのメーカーに、最強のリモコンプログラムをOEM提供しているのだ。クルマの世界では、ホイールからコインホルダーまでさまざまな後付け部品の「アフターマーケット」が立ち上がっているが、ユビキタス時代になれば、ユーザーが身につける時計やアクセサリなどが重要なIDタグやコントローラーになる可能性は高い。そうした趣味性の強いオブジェへの需要はきっと巨大なアフターマーケットを作り出すだろう。これからの時代、プロトコルビジネスには要注目だ。（今泉 洋）



万能ケイタイへー直線
折り畳み式採用で機能密度をさらに上げた新CLIE
[CLIE PEG-NR70V]

メーカー ソニーマーケティング(株)
URL www.sony.co.jp/CLIE/

ほぼ月代わりでニューモデルが登場するケイタイの世界。回線事業者間のはげしい競争あればこそだから、ナットクできなくもない。だが不思議なことに、そうしたバックアップ抜きでも続々と新製品が出てくるのが携帯情報端末。メーカーのメンツが、ユビキタス時代への布石か？ それほどもかく、デバイスからコンテンツまで、すべてネットワーク志向のソニーが発表した新CLIE PEG-NR70Vもその代表格。320 × 480ピクセルのバックライト付き半透過型TFTカラーディスプレイにPCと同配列のキーボード、10万画素のデジカメ、もちろん音楽再生もOKといった具合。フリップ式のデザインを採用し、一気に使い勝手と表面積アップを狙ったのも、CLIEファンに文句を言わせないレベルまで、あらゆる機能をまとめて取り入れるための苦肉の策か？ 機能の総集で万能ナイフのピークを迎えたCLIE、パズルと思って使いこなすのもオツな楽しみかもしれない。(今泉 洋)



やっと出た携帯AVプレーヤー
この性能を使いこなせるサービスを
[ポータブルAVプレーヤー MT-AV1]

メーカー シャープ(株)
URL www.sharp.co.jp/pav/

出るべくして出た感のあるこの携帯AVプレーヤーは、3型TFT液晶ディスプレイにSDメモリーという組み合わせで1時間(最長2時間)の動画を記録再生できる。低解像度に割り切ったMPEG-4の応用としてはまず納得の出来映え。しかし、かつてウォークマンが巻き起こしたようなブームの引き金になるかという難しそう。音楽なら何度が聞くということは多いが、ビデオを繰り返し見るといのは、コンテンツ的にもユーザー的にもかなり限定されるからだ。さらにVTRと組み合わせれば留守録も大丈夫とは言うものの、この時代にいちいち番組を録画する気になるかどうか。せつかく新しい可能性のある製品なのだから、この仕組みを生かした展開はないものか、長距離通勤のサラリーマン向けに改札口で自動的にビジネスニュースをダウンロードしてくれるようなサービスでも始めてくれればおもしろいのだが……。(今泉 洋)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp